

5・6歳におすすめの絵本



『おおかみの  
おなかのなかで』  
マック・バーネット/文  
ジョン・クラッセン/絵  
なかがわちひろ/訳 徳間書店

おおかみにばくっと食べられてしまったねずみ。おおかみのお腹の中で「もうおしまいだ」と泣いていると、「しずかにしてくれよ」と怒鳴る声が聞こえます。怒鳴るのはいったい誰？



『おいしいの  
ぼうけん』  
古田足日・田畑精一/作  
童心社

さくら保育園には、怖いものがふたつあります。ひとつは押し入れで、もうひとつはねずみばあさんです。ある日、さとしとあきは先生に叱られて押し入れに入れられてしまいます。そこには…。



『はかせのふしぎな  
プール』  
中村至男/作  
福音館書店

博士が発明した何でも大きくなるプール。水面から出ている一部分を手がかりに助手くんが正体を当てます。想像力を刺激し、ユーモアもたっぷり。



『ボルカ』  
ジョン・バーニングム/作  
木島始/訳  
ほるぷ出版

ガチョウのボルカは生まれた時から羽がはえていませんでした。冬になり旅立つ他のガチョウを涙し見送るボルカ。そしてひとりぼっちになったボルカは…。

赤ちゃんへの読み聞かせQ&A

Q 何ヶ月から読み始めればいいのか？

A 早すぎる、遅すぎる、ということはありません。読みたい時が、始め時。お父さん、お母さんと赤ちゃんが気持ちのいいときに、ゆったり楽しんでみてください。

Q 絵本を読んでも反応がないのですが？

A 絵本に興味を示さないからといって、何も心配することはありません。絵本を「読書」ととらえないで、親子のコミュニケーションを楽しむひとつと考えてはいかがでしょうか。何ヶ月かたつとまったく違う反応が返ってくることも多いものです。一度読んでみて興味がなさそうなら、しばらくたってからまた読んでみるのもいいかもしれません。

絵本選びで迷ったら、いつでも絵本館にご相談ください。

絵本は赤ちゃんの世界をつなぐ『まほうのとびら』です。お父さん、お母さんとたくさんのおとびらを開いて、一緒に楽しい時間を過ごしてください。さあ、本のとびらを開けて、ひろい世界に出かけましょう。

このリストに掲載されている本は、空とこども絵本館、小松市立図書館で借りることができます。どうぞご利用ください。

◆小松市立空とこども絵本館  
〒923-0904  
小松市小馬出町10番地3  
電話(0761)23-0033

◆小松市立図書館  
〒923-0903  
小松市丸の内公園町19  
電話(0761)24-5311

毎月23日は「こまつ市民読書の日」



◆南部図書館  
〒923-0303 小松市島町又43  
電話(0761)43-1222

2023年4月発行：小松市教育委員会



赤ちゃんにおすすめの絵本(0・1・2歳)



『いない いない ばあ』  
松谷みよこ/文 瀬川康男/絵  
童心社  
動物たちが「いないいない」をしています。ページをめくるたびに「ばあ」。



『おにぎり』  
平山英三/文 平山和子/絵  
福音館書店  
本物そっくりの絵に引き込まれて、みんなにっこりしてしまいます。